



区民による身近な生物調査ロゴマーク

みんなで探して発見! 身近な自然

いつもいきものの情報をありがとうございます。
いただいた情報は、貴重な記録として集約いたしております。
紙面の都合上全部をご紹介できないことをお許しください。
みなさんが発見したいいきものや自然情報をご紹介します!
みなさんはどんな発見をしましたか? ふりかえってみましょう!

今年はどうな発見があったかな?



ルリタテハ (タテハチョウ科)



[3月27日]八雲

日本全域に生息していて、東南アジアなどの海外にも広く分布しています。平地の森林内やその周りに生息していますが、都市部の公園や緑地でも見られます。

モズ(モズ科)



[1月22日]駒沢オリンピック公園

動物食で、昆虫や小型の鳥類なども食べます。捕えた獲物を木の枝などに突き刺しておく習性があり、これを「モズのはやにえ」とよんでいます。

ヒキガエル (ヒキガエル科)



[3月29日]東が丘1丁目

体が比較的大きく、東京の都心部や住宅地でも見られます。

アオジ (ホオジロ科)



[1月20日]大岡山2丁目

全長16cmほどでスズメよりも、少し大きい鳥です。開けた森林や林縁に生息していて、地上で植物の種子や昆虫などを探しています。

シロバナタンポポ(キク科)



[3月8日]目黒区民センター

白い花を咲かせる日本在来のタンポポです。もともと、西日本を中心に分布していましたが、近年は都内でも見られるようになりました。

スギナ(トクサ科)



[3月5日]国立病院東京医療センター

私たちがよく見る「ツクシ」はスギナの胞子茎です。スギナは胞子で増えるシダ植物のなかまです。

ミミズのなかま



[1月12日]大橋2丁目

ミミズは1匹の体の中にオスとメスの両方の器官があります。これを雄雌同体といいます。カタツムリと同じです。

こんないきものの情報も募集しています!

オオキンケイギク

繁殖力が強く、ほかの植物の生育環境を奪う危険性があり、特定外来生物に指定されています。

○発見したら...

- ・目黒区都市整備部みどり土木政策課まで情報をお寄せください。
- ・ご自分の所有地の場合は駆除にもご協力ください。

○駆除する場合...

- ・根元から株ごと引き抜きます。多年草なので、根が残るとまた生えてきます。
- ・種や根を落とさないように袋を密閉して枯らせます。
- ・自治体のごみ処理方法にしたがって処理して下さい。



全体の様子



花の様子



除草作業の様子

野草の保全活動について

目黒区内では駒場野公園で野草の保全活動をしています。

【駒場野公園】野の花クラブ

駒場野公園で野の花クラブ
として活動されている
瀬戸さんにお話を聞きました！



野草園では、
四季を肌で感じることが
できます。



野の花クラブ
瀬戸 由紀子さん

Q. 活動を始めたきっかけは？

ここは昔、東京教育大学の農場試験場でした。
初代の植物の先生と目黒区と、野の花が好きな人とが集まり、
ここに生えていた貴重な植物を残したいという思いから野草園を作りました。

Q. 活動内容は？

野草の維持管理を行っています。保全する種を明確にして、
守り育てる活動をしています。

Q. 今後の活動は？

これからも野草園を残していきたいので、いろいろな人に知っていただき、
活動に共感して参加する仲間たちが増えるといいなと思います。



野草園の様子



活動は毎月第1、第3日曜日の午前中に行っています。
ご興味のある方は、どうぞお越しください。

目黒区でこんな植物を保護しました！



フデリンドウ(リンドウ科)

東京工業大学で工事を行う際に、敷地内にフデリンドウが生えている
のが確認されました。現在、目黒区では貴重なフデリンドウを鉢植えに
移して一時的に保護しています。

みなさんの身近な場所にも、貴重な植物が生えているかもしれません。



陽の光が当たると
花が開き、陽が
かげったり雨が降
ったりすると花を閉
じます。

暮らしに身近な野草たち

春の七草

邪気を払い万病を除くといわれ、無病息災を願って1月7日に七草がゆを食べる習慣があります。駒場野公園にある駒場野自然クラブでは、園内で七草を探す活動をしています。



セリ



ナズナ



ゴギョウ(ハハコグサ)

江戸時代には歯磨き粉として使われていました。



ハコベラ(コハコベ)



実は現在、ホトケノザと呼ばれているのはシソ科の植物で、七草の「ホトケノザ」ではありません。



ホトケノザ(コオニタビラコ)



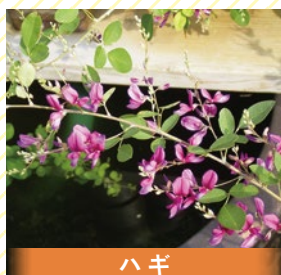
スズナ(かぶ)



スズシロ(だいこん)

秋の七草

万葉集にも詠まれた見て楽しむ七草です。



ハギ



オバナ(ススキ)



クズ



ナadeshiko



オミナエシ



フジバカマ



アサガオ(キキョウ)

目黒区の花

かつては目黒の鷹狩りの場であった駒場野や畑のあぜなどに見られました。蝶型の紅紫色や白色の小さな花が群がって咲き、和歌にも詠まれ俳句の季語ともなる、さわめて美しい花です。古い株から新しい芽を出すこの花は、明るい未来を築く、私たちの目黒区を象徴する花です。

野草で遊んでみよう!

～オオバコ相撲～



オオバコは道端や公園などによく生える多年草の植物です。葉は生薬として利用されています。



①オオバコ同士を絡めて、引っ張り合います



②切れなかった方が勝ちです!



身近な自然と触れ合おう！

やっぱり近場で楽しむ
自然はいいなあ...

●夏休みミニ写真展 駒場野の四季といきものたち2022

目黒川の支流、空川(そらがわ)の上流にある駒場野公園には、都会では貴重な豊かな自然が見られます。

里山に暮すコクワガタやカワセミ、スミレなどの駒場野公園の自然を紹介。

こんないきものたちがいるの!? と、少しびっくり!! みなさま、ご家族連れで駒場野公園をお楽しみください!

(公園活動登録団体: 駒場野ホテルの会企画)

期 間 7月23日(土)~8月28日(日)

時 間 午前9時30分から午後4時30分まで

会 場 駒場野公園(自然観察舎・拡張部管理棟) ※月・火曜日は休館

目黒区駒場 2-19-70(井の頭線駒場東大前駅徒歩1分)

※自然通信員の皆様 駒場野公園の自然写真募集中です。

「カメのふしぎ展」
も同時開催!!



●森の忍者ナナフシ発見!!



●春の雑木林にひっそり咲くタチツボスミレ



●枯れ木などがすみかの人気者コクワガタ



●空飛ぶ宝石と呼ばれるカワセミが来た!!

●お問い合わせ 駒場野公園自然観察舎 電話 03-3485-1754



いきもの住民会議 2022 開催します!!



「目黒区にある野草」をテーマに野草についての講義と公園内の野草の観察を行う観察会を開催します!!

もしかしたら珍しい野草を見つけられるかも!? 皆様ふるってご参加ください!!

期間 令和4年9月24日(土)予備日:10月1日(土)

時間 午前10時~午前12時まで

会場 菅刈公園(和館) 目黒区青葉台2-11-25)

天候 当日小雨の場合は決行、台風等の荒天の場合は中止

人数 定員10名程度

※小学生3年生以上の自然通信員(問い合わせ時点で通信員ではない)

場合は通信員に登録してから応募してください。

※小学3年生未満の自然通信員の方は保護者同伴及び大人の自然通信員

の付き添いが小学3年生未満の方も参加可能です。

●申し込み

はがき・FAXに「いきもの住民会議2022」と明記の上、住所・電話番号・参加者の氏名

(ふりがな)と年齢を書いて8月31日(水)(必着)までにみどり土木政策課みどりの係

(〒153-8573 目黒区役所 FAX:03-3792-2112)まで



まだ見ぬ野草たちが
君を待っている...



募集中!

目黒区では引き続きいきもの情報を募集しております!

お近くの公園やご自宅のお庭をのぞいてみてください。皆様からの情報お待ちしております♪

2022年7月25日発行
みどり土木政策課みどりの係

自然通信員だより 71-4

ささえあういのちの輪
目黒区生物多様性地域戦略